



「認知症と共に咲かせよう 自分らしさの花」

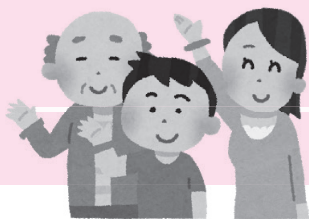


図 高齢福祉課 包括支援係

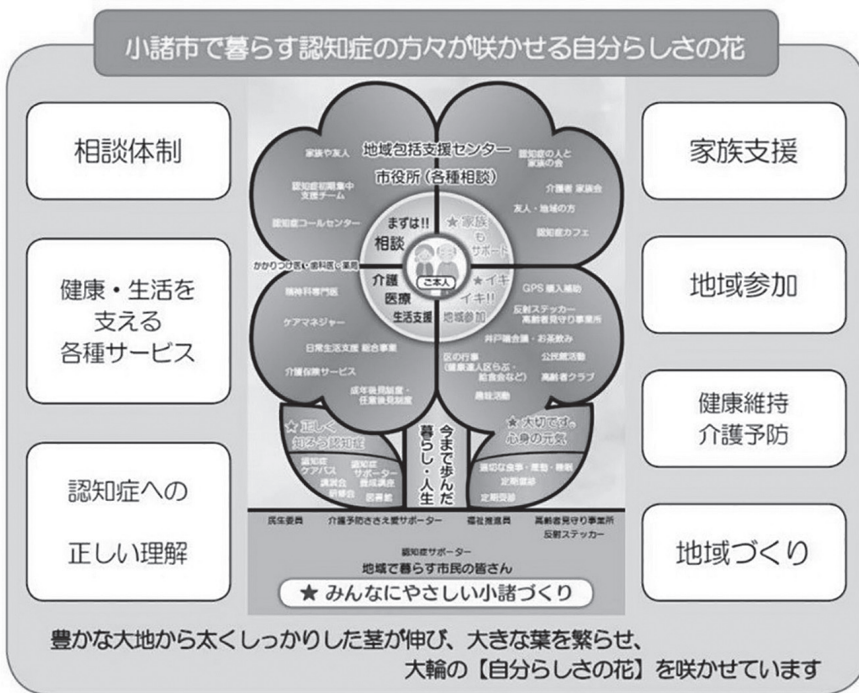
◆誰もが関わる可能性のある身近な病気

厚生労働省の推計によると、2025年には認知症の患者が700万人を突破します。これは65歳以上の5人に1人が認知症になるということで、認知症がいかに身近な病気であるかがわかります。

◆認知症になっても自分らしくイキイキと

小諸市では「私がわたしらしく豊かに安心して暮らせる地域」を基本理念とし、誰もが住み慣れた環境のもとで自分らしく生活ができる、支え合う地域の実現を目指しています。

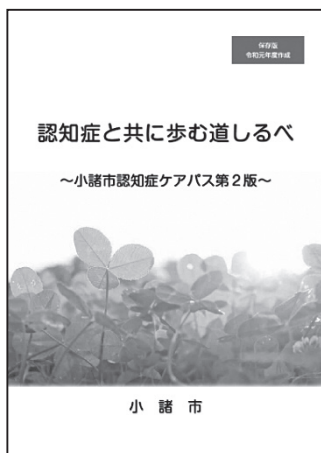
右図のように、小諸市で暮らす認知症の方々がご本人を中心に大輪の【自分らしさの花】を咲かせられるように、小諸市に暮らし、関わる全ての皆さんと様々な取り組みを進めています。



◆『認知症と共に歩む道しるべ ～小諸市認知症ケアパス第2版～』

認知症は、進行とともに状態が変化する病気なので、変化していく状態に応じて適切なサポートを受けることが大切です。

この冊子では、どのような状態のときに、どのような支援が受けられるか、知っておきたい相談窓口や、地域のサービスを紹介しているほか、対応や介護のヒント、ご本人の「想い」を記入するページ、小諸市に暮らす認知症と共に歩んでいるご本人やご家族、医療・介護・福祉関係者や地域の皆さまからのメッセージを掲載しています。



◆この冊子をご本人・ご家族と支援者が 一緒に活用します

『認知症と共に歩む道しるべ』は、ご本人・ご家族だけで利用いただくのではなく、地域包括支援センター職員やケアマネジャーなど、相談援助を行う支援者と一緒に活用いただく冊子です。

一緒に活用することで、ご本人に合った地域資源や制度、介護サービスを検討したり、ご本人の大切にしていることや役割、強みを大切にすることができ、ご本人やご家族の安心につながります。



⇒ 市内のケアマネジャー・介護事業所等を対象にケアパス活用研修を行い、活用時のポイントや留意点を確認しました。

◆相談がはじめの一步!

小諸市地域包括支援センター ☎ 26-2250
小諸市高齢福祉課 包括支援係

『認知症と共に歩む道しるべ』は、市ホームページ・市立小諸図書館でもご覧いただけます